

# 女夫石遺跡発掘調査速報

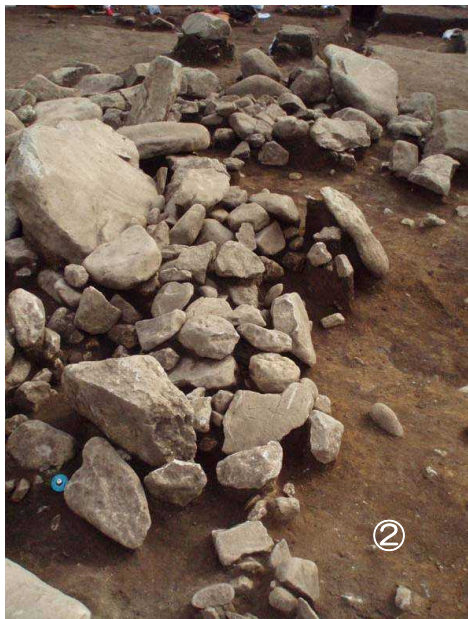
## No.17

今回は配石遺構（はいせきいこう）を紹介  
します。長さ1メートルから拳大の大きさの  
石を用いて、立体的に積み上げたもののよう  
です。土器がほとんど出ていないため細かい  
時代が特定できませんが、縄文時代中期後半  
の早い段階であることは間違いないよう  
です。意外と古く、初期の配石の形態をとどめ  
ているものといえそうです。現在多くの研究  
者の方々が訪れています。そんな方々の一  
言、「すごいねー」。そして考え込んでいます。  
本当にすごいものなのです。

皆さんも見に来てね！



- 沢リ：石がたくさんまとまっているよ。  
マキ：配石遺構って呼ぶらしいよ。ただの石も多いけど、まんまるの丸石  
や穴だらけの蜂巢石なんかもあるし、石棒みたいに細長い石も多い  
よ！それにもともと立ててあった石もあるみたいだよ！  
沢リ：本当だ、積み上げた石がずり落ちたようなところ（写真①）もある  
ね。長い時間の間に崩れてしまったみたいだね。  
マキ：竪穴住居のような住まいではなさそうだし、土器捨て場とも違うみ  
たいだね？  
沢リ：今のところモノを焼いた痕跡も確認できていないんだってさ。  
マキ：家でなければ土器捨て場でもない・・・となると・・・？  
沢リ：お祭か何かした場所じゃないかな？しかも土器捨て場とは違う意味  
のお祭りをしたんじゃないかな～  
マキ：そうだね、とっても大きな石をわざわざ集めて積み上げたりしてい  
るみたいだから、女夫石縄文人にとってとても意味のある場所だっ  
たんだろうね！どんな意味があったのか、これから分かってくと  
楽しいよね！（つづく）



配石を構成する石の中には、「丸石（まるいし）」・「蜂巢  
石（はちのすいし）」・石柱（せきちゅう）などの非日常  
的な石器が含まれているんだよ！大きな石や小さな石  
を組み合わせて積み上げたり、石を立てたりしてあった  
みたいだよ。荊崎市の後田遺跡（藤井町北下条・北東小  
学校の南側）でも以前配石遺構が確認されたんだって  
さ！その時はたくさんの埋嚢も見つかったみたいだ  
よ！今回は見つかるのかな？縄文人はなぜ配石を作っ  
たんだろう、何か願いが込められているのかな？